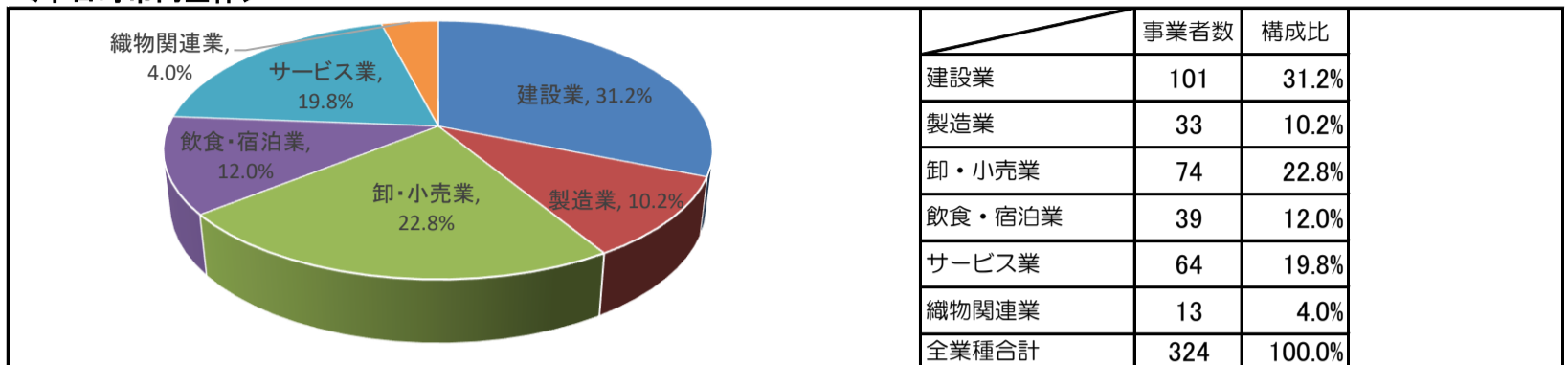


十日町市地域 企業景況調査 第3四半期報告書 (R6.10.1~R6.12.31) 会議所地区

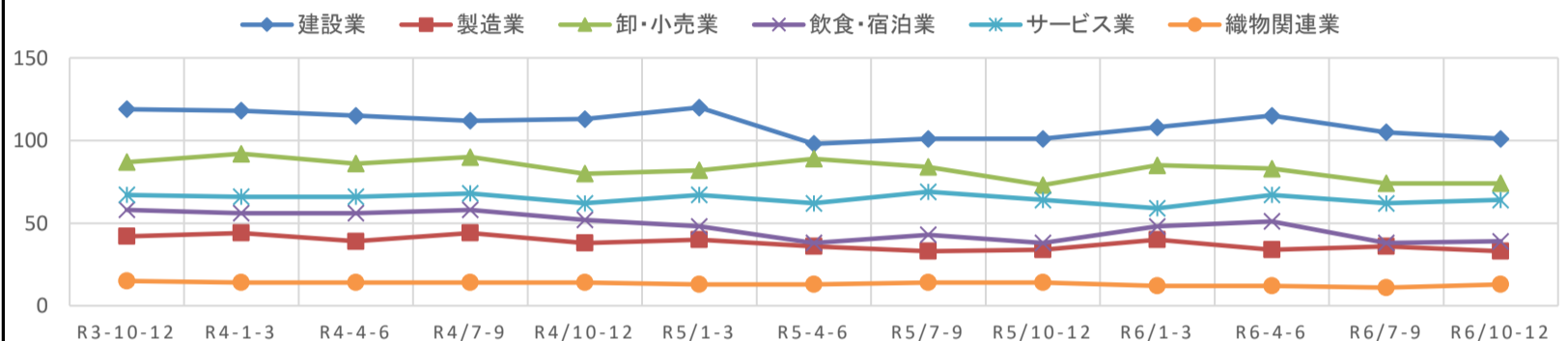
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

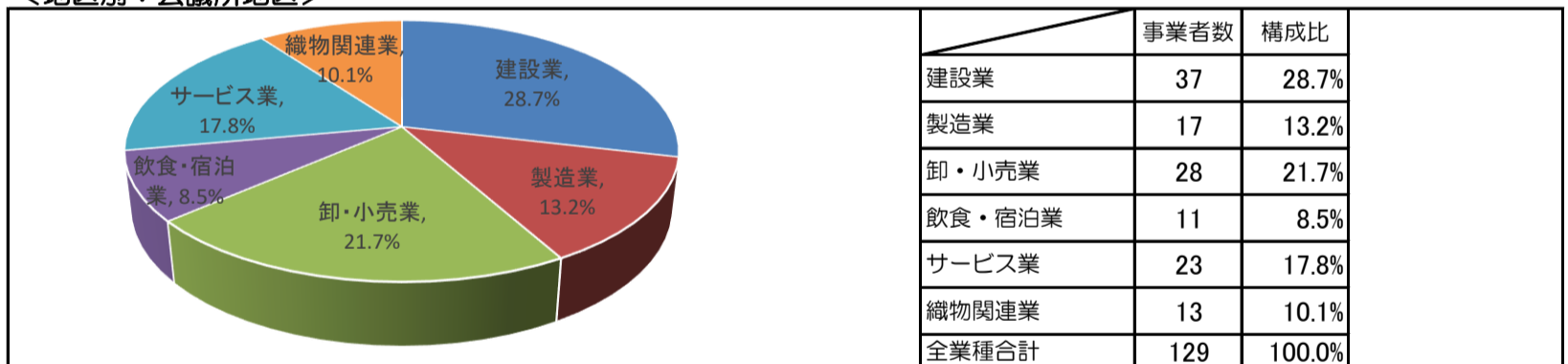


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

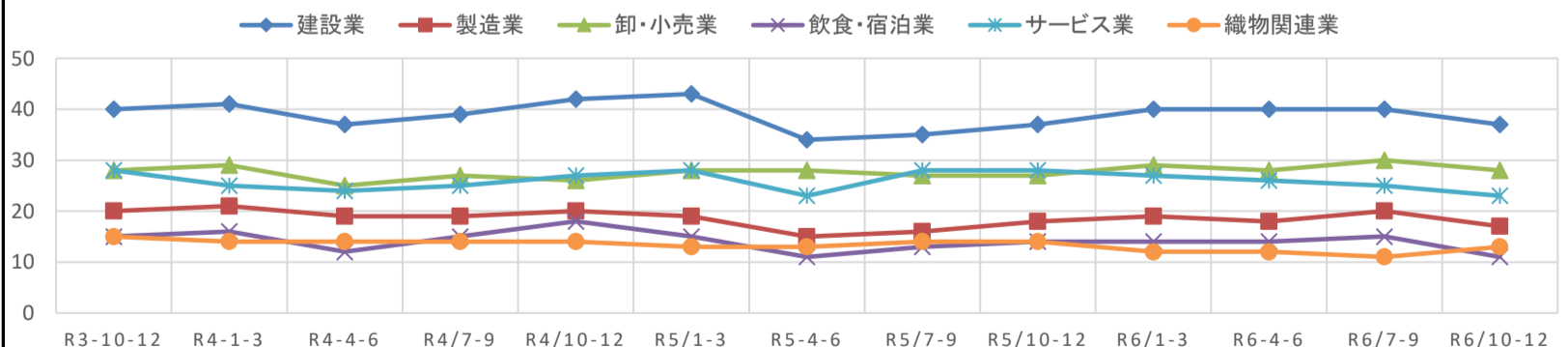


<コメント> 今回の調査は、十日町市内324事業者から回答を得られた。前回の調査より2事業者減少している。業種別に見ると、建設業、製造業、飲食・宿泊業で回答事業者数が減少した。また、建築業の回答割合が最も高くなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



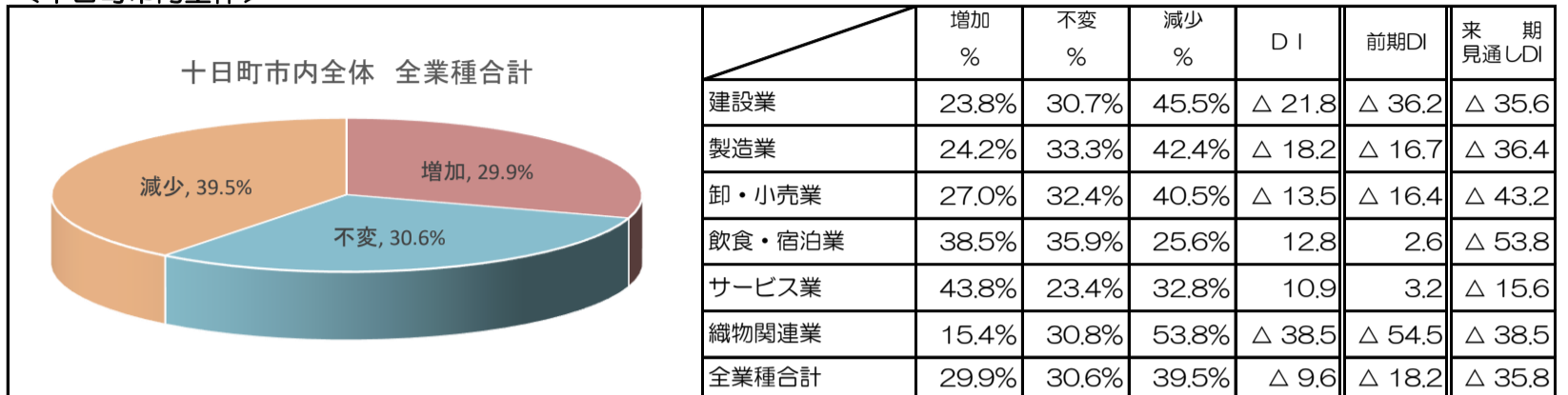
<コメント> 会議所地区の今回の調査回答状況は、依頼先187事業者のうち129事業者からの回答があり、回収率は69.0%と前回に比べ6.4%減少した(前回：回答事業者141事業所、回収率75.4%)

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

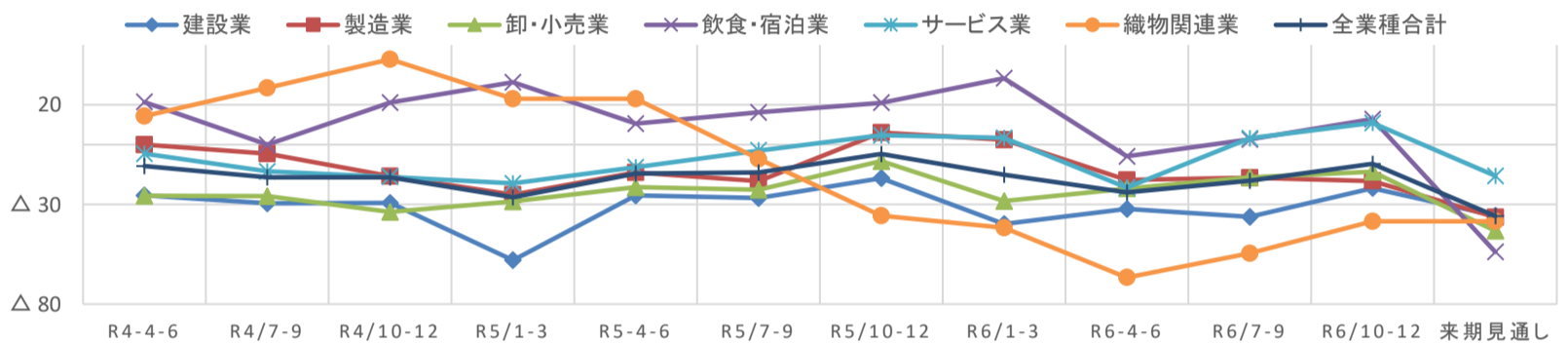
1. 売上について

- ・10月～12月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

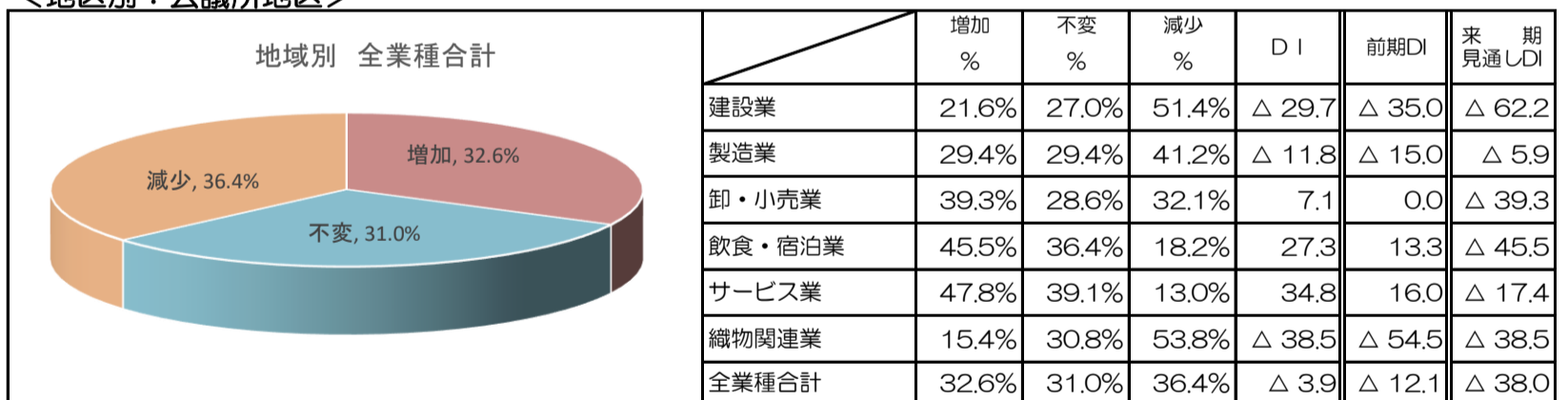


業種別売上の推移（市内全体）

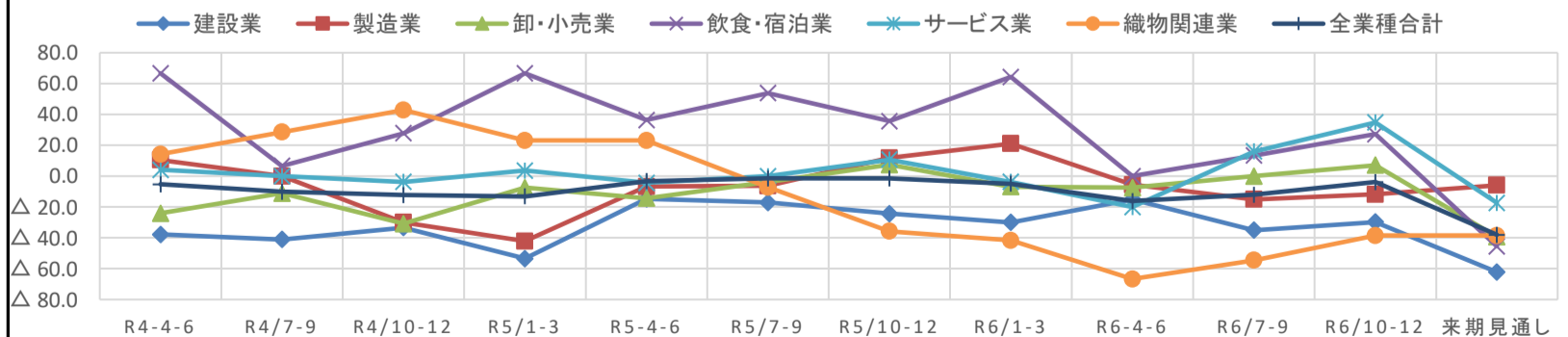


<コメント>十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△9.6ポイントで、前回調査時よりも8.6ポイント増加となっている。業種別に見ても、全ての業種で増加している。来期の見通しでは、全ての業種で減少の見通しとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移（地区別）

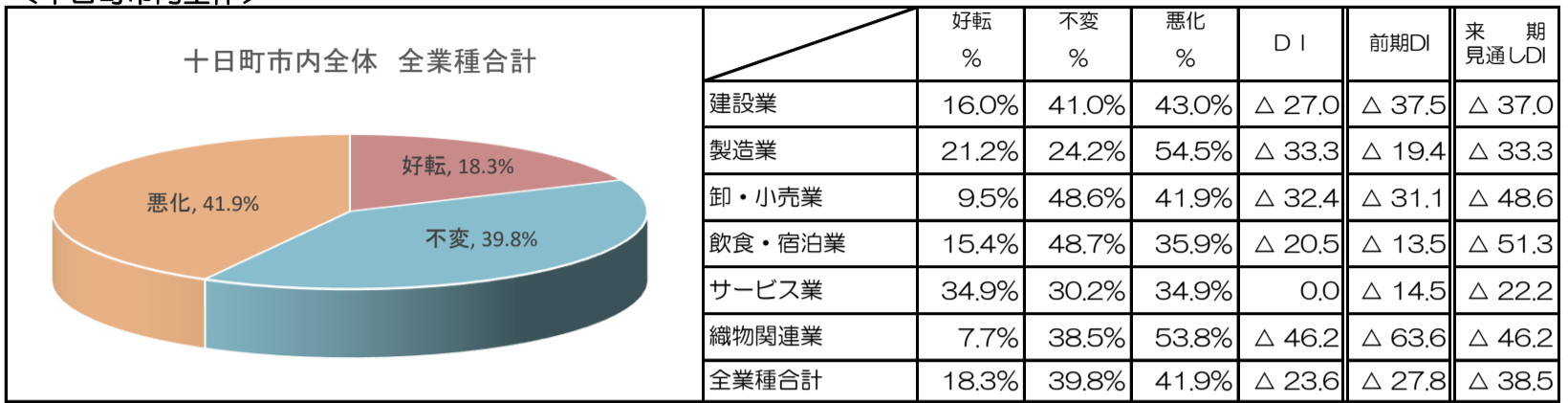


<コメント>会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値が△3.9ポイントで、前回調査時よりも8.2ポイント増加した。業種別に見ると、すべての業種で増加となった。来期見通しでは、織物関連業は横ばい、製造業が増加予測となったが、その他の業種では減少の見通し、全業種DI値においても減少の見通しである。

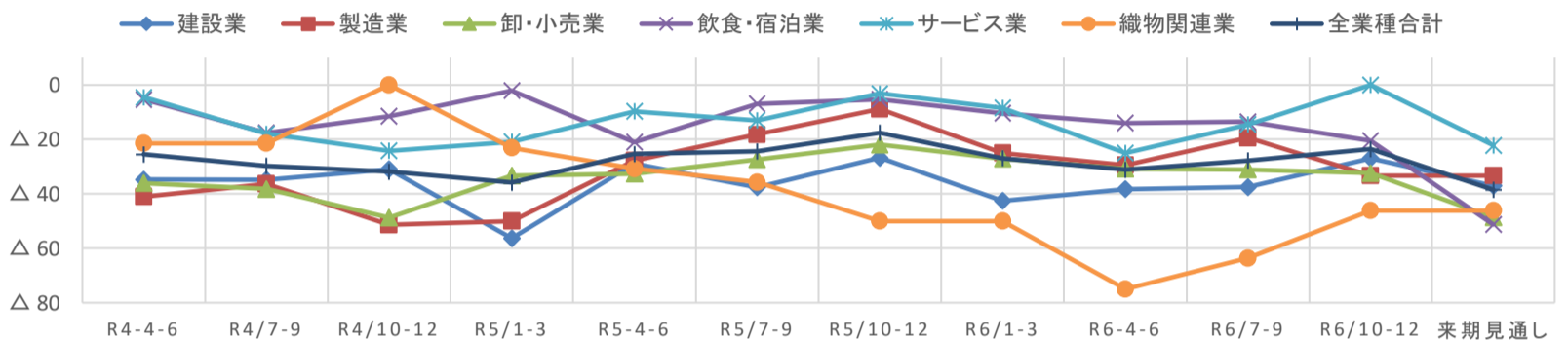
2. 採算について

- ・10月～12月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

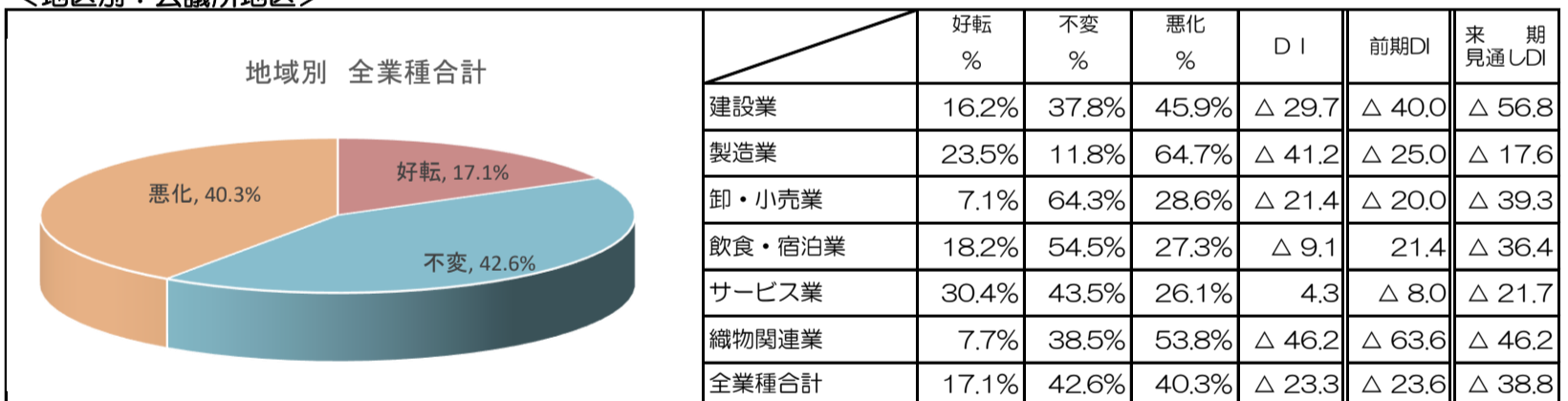


業種別採算の推移(市内全体)

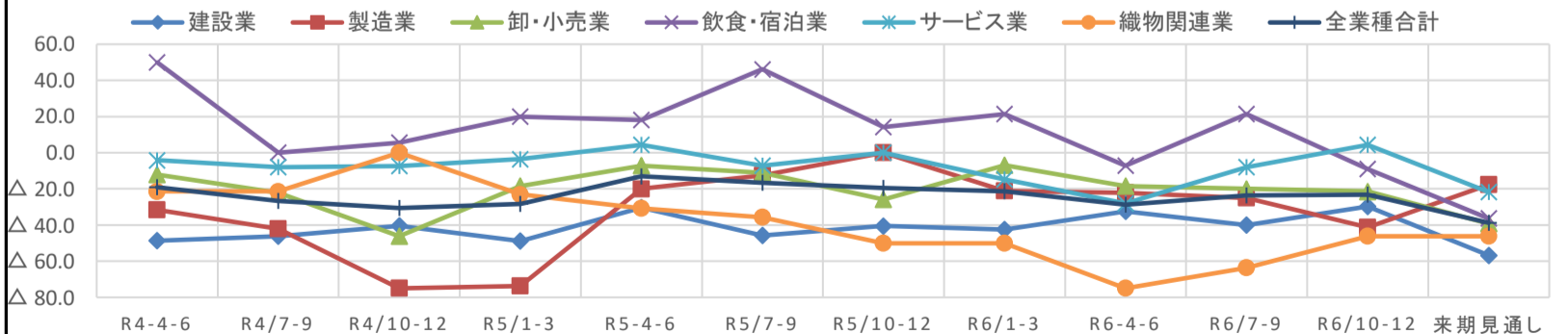


<コメント>十日町市内全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△23.6ポイントで、前回調査より4.2ポイント好転している。建設業とサービス業では好転、製造業、卸・小売業、飲食・宿泊業では悪化となった。来期見通しでは、製造業以外の業種では悪化予測となっている。

<地区別：会議所地区>



業種別採算の推移(地区別)

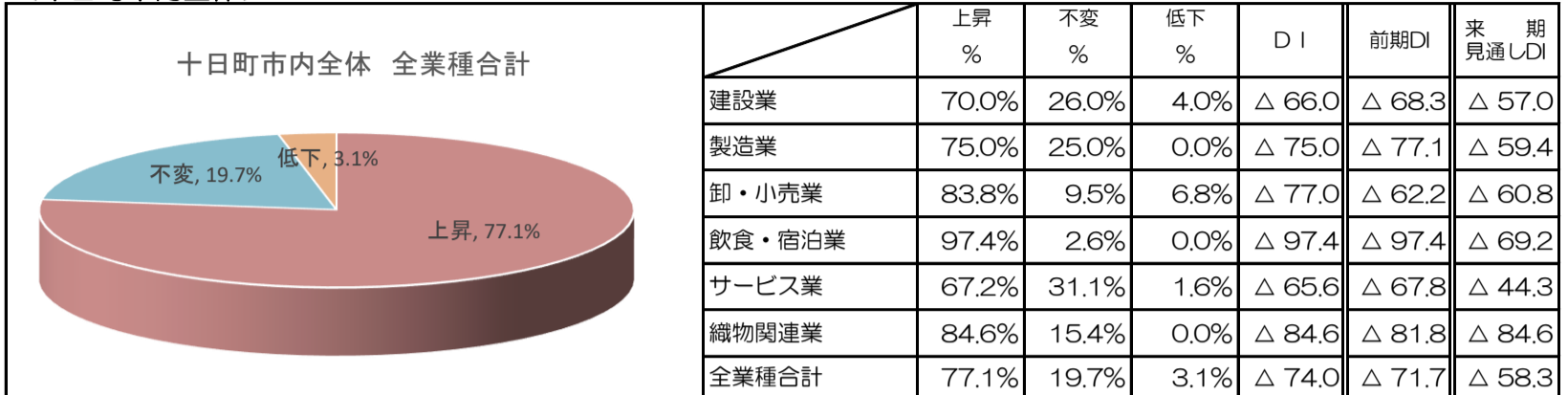


<コメント>会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値が△23.3ポイントで、前回調査時よりも0.3ポイント好転となった。業種別に見ると、建設業、サービス業、織物関連業が好転となったが、その他の業種は悪化した。来期見通しでは、製造業が好転、織物関連業が横ばいの予測、その他は悪化の見通しとなり、全業種DI値においても悪化の見通しとなっている。

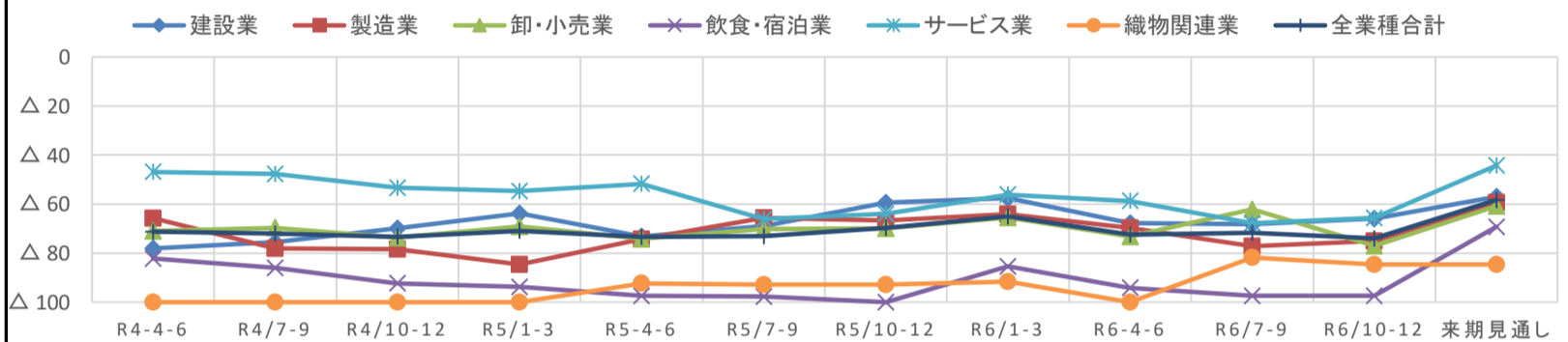
### 3. 仕入単価について

・10月～12月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <十日町市内全体>

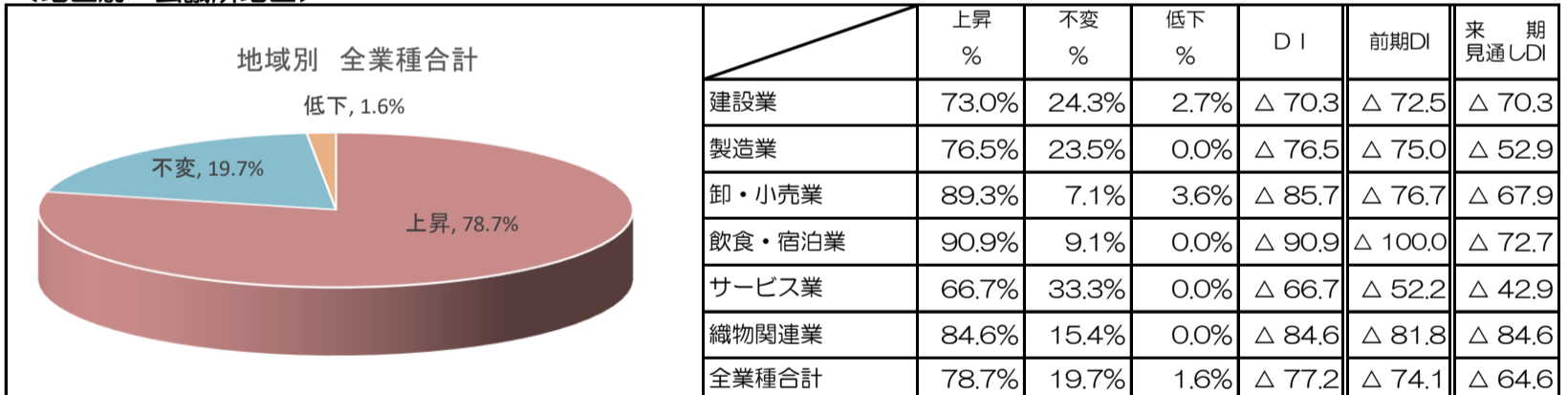


#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)

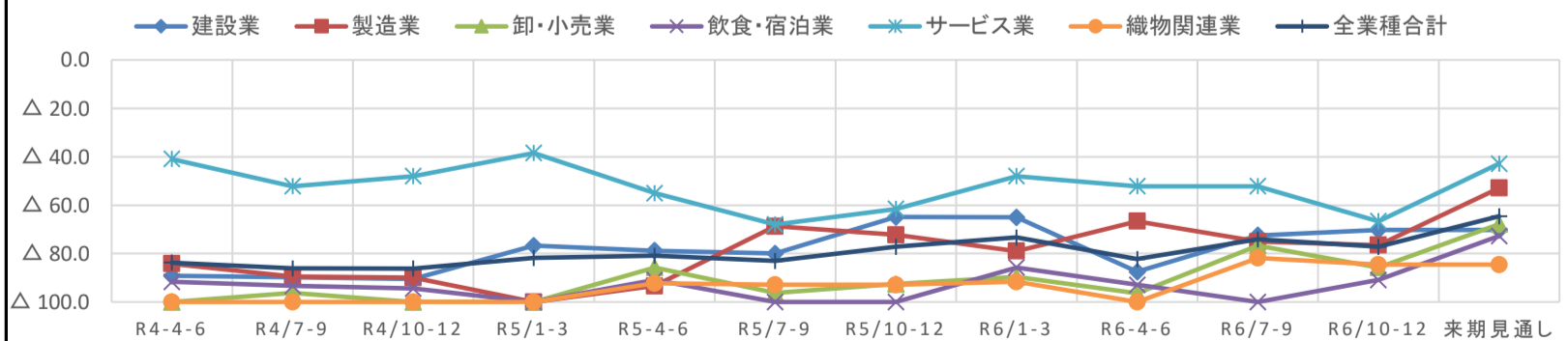


<コメント>十日町市内全体の今期の仕入単価の状況は、全業種DI値で△74.0ポイントで、前回調査時よりも2.3ポイント低下し、仕入単価の上昇が見受けられる。卸・小売業ではDI値が低下し、仕入単価上昇となっているが、その他の業種では仕入単価が減少、又は不変となっている。来期の見通しについては、全業種でDI値が上昇し、仕入単価がさらに低下する予測となっている。今後の動向を注視していきたい。

#### <地区別：会議所地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)



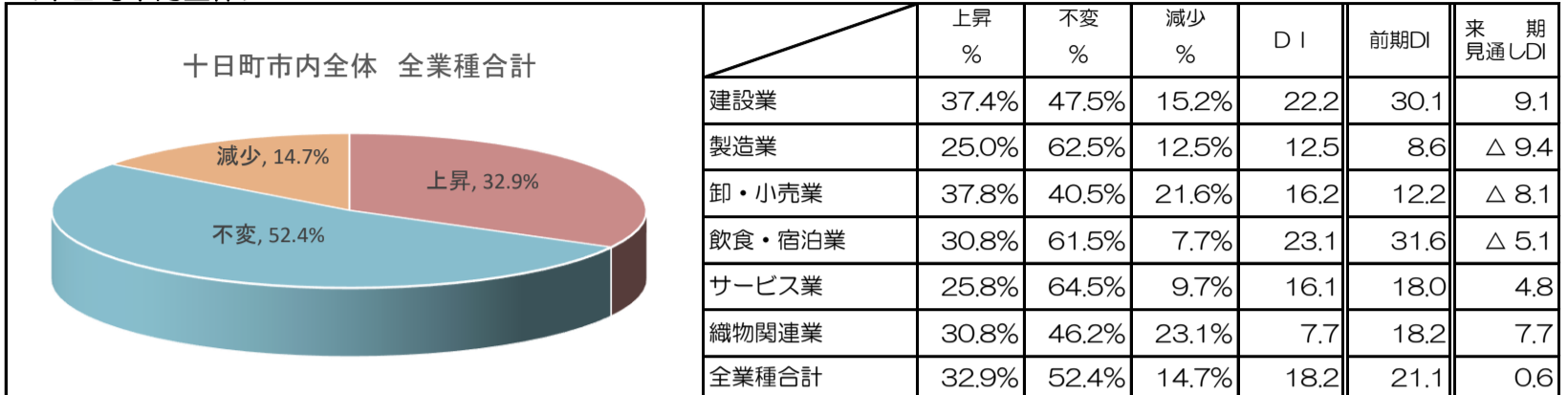
<コメント>会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が△77.2ポイントで、前回調査時より3.1ポイント上昇した。業種別に見ると建設業と飲食・宿泊業は低下となったが、それ以外は上昇した。製造業、飲食・宿泊業、サービス業、織物関連業においては低下回答はなかった。来期見通しでは建設業と織物関連業が横ばい、その他の全業種が低下の予測となっている。



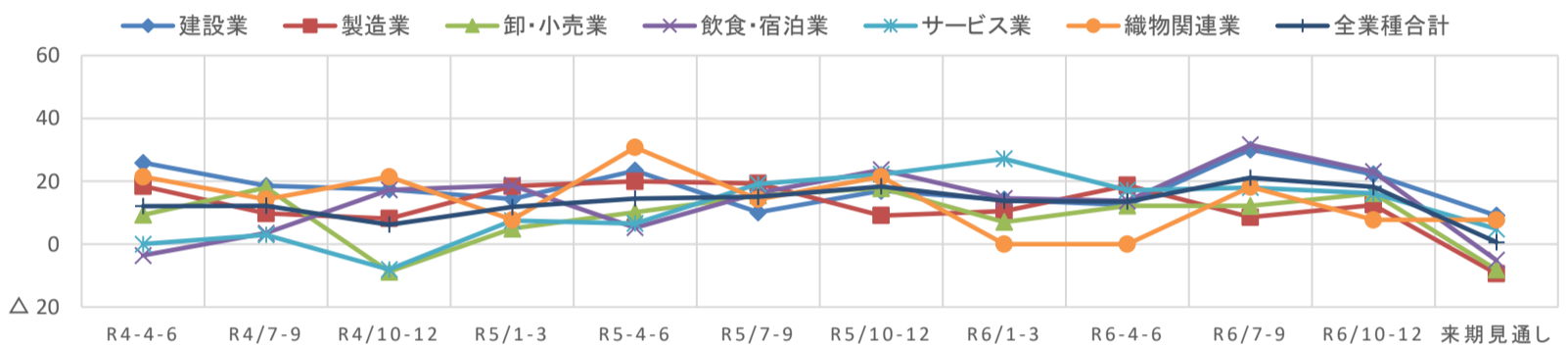
4. 販売（客）単価について

・10月～12月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

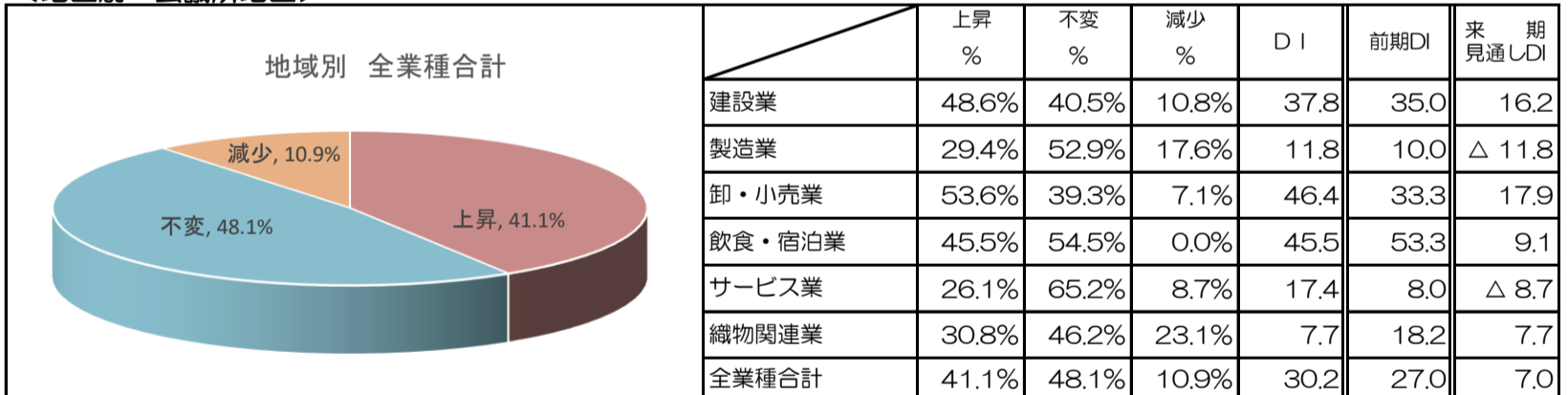


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

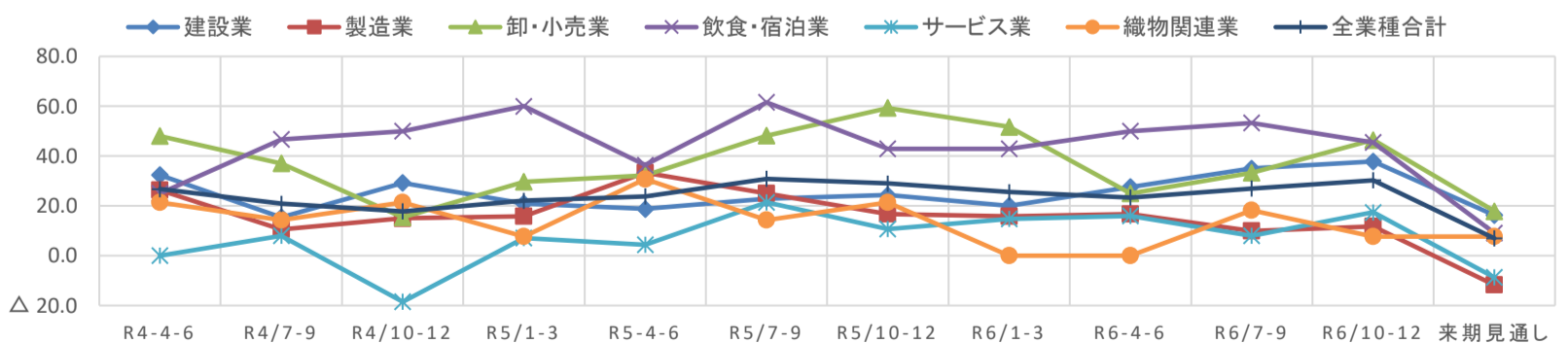


＜コメント＞十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で18.2ポイント、前回調査時よりも2.9ポイント低下している。製造業、卸・小売業では上昇したが、建設業、飲食・宿泊業、サービス業では低下となった。来期の見通しについては、全業種で低下の予測となっている。

＜地区別：会議所地区＞



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

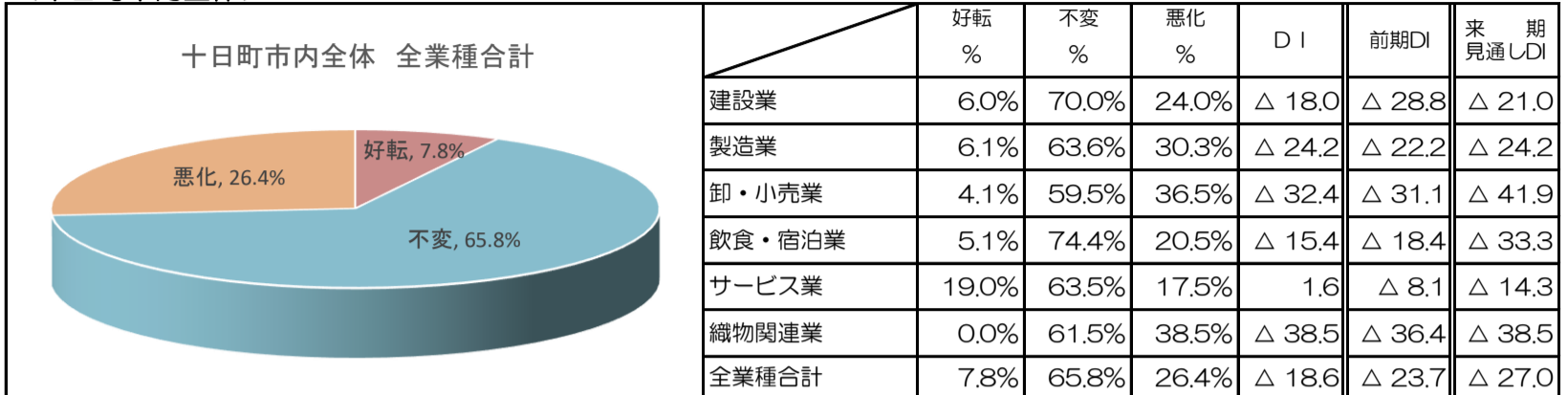


＜コメント＞会議所地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値が30.2ポイントで、前回調査時よりも3.2ポイント上昇している。業種別に見ると、飲食・宿泊業と織物関連業が低下し、その他の業種は上昇となっている。来期見通しでは織物関連業が横ばいの予測、その他の業種は低下予測となっており、全業種DI値においても低下する見通しである。

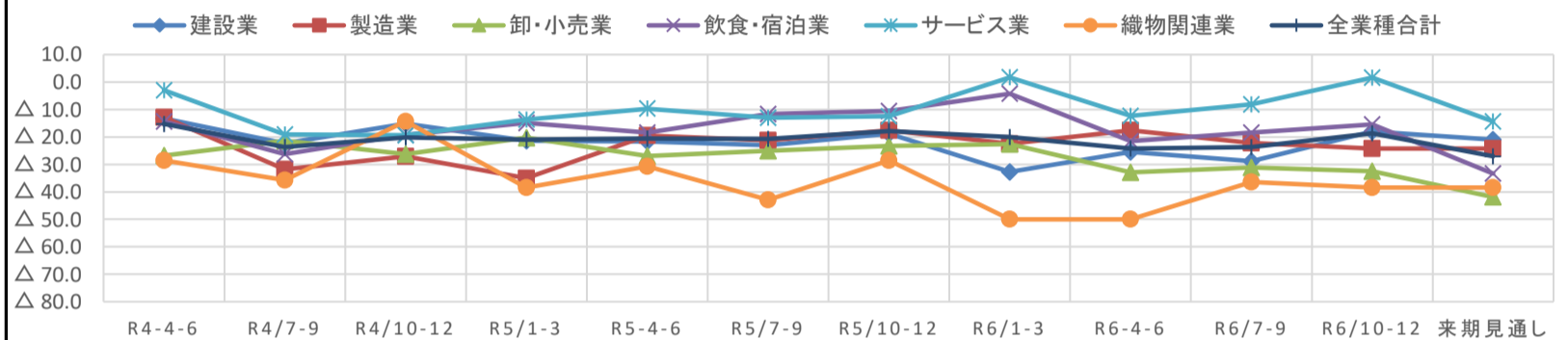
5. 資金繰りについて

・10月～12月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

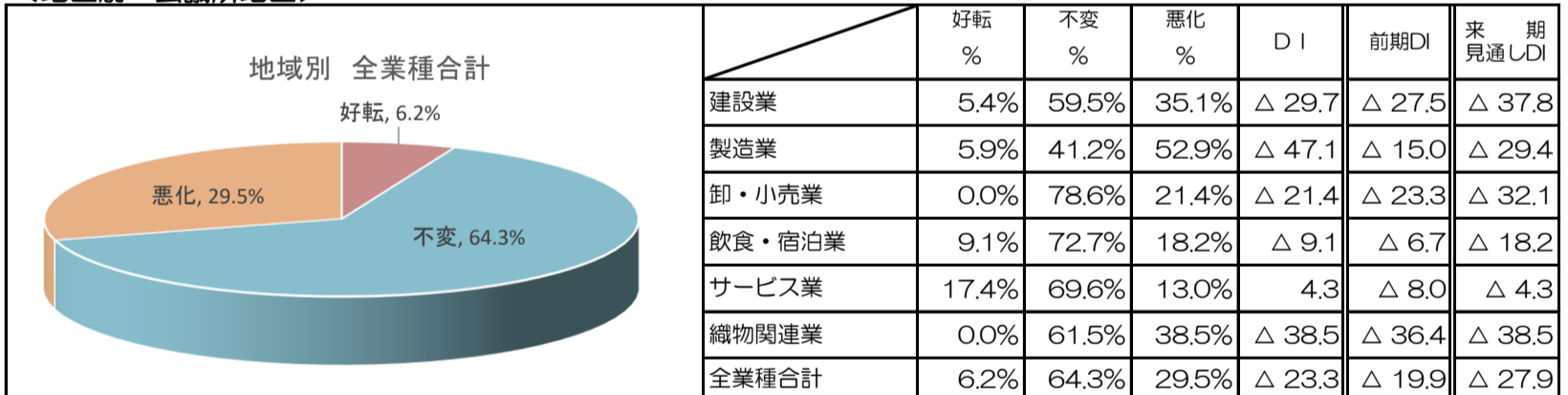


業種別資金繰りの推移(市内全体)

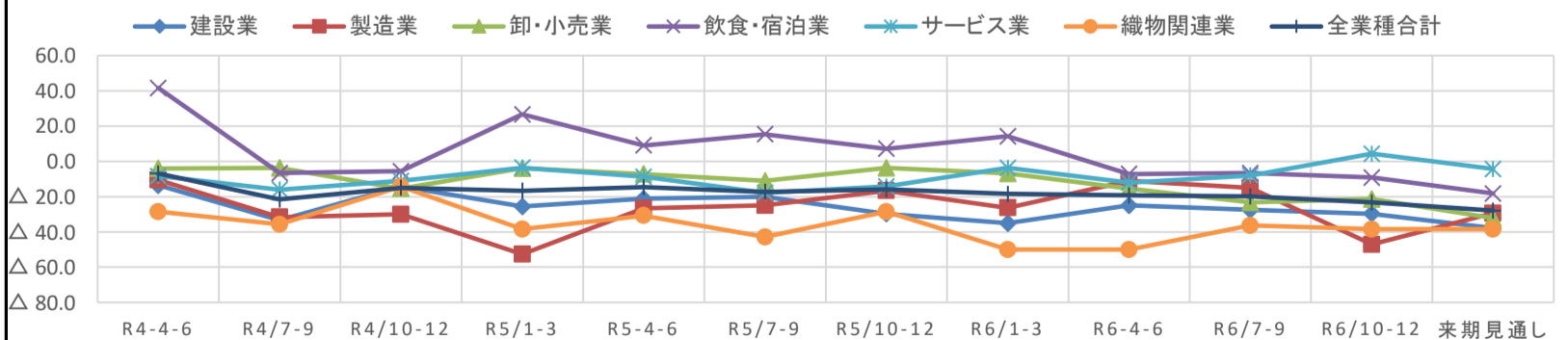


＜コメント＞十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△18.6ポイントで、前回調査時よりも5.1ポイント好転した。建設業、飲食・宿泊業、サービス業で好転、製造業、卸・小売業で悪化となった。来期は悪化の見通しで、飲食・宿泊業とサービス業で大きく悪化の予測となっている。

＜地区別：会議所地区＞



業種別資金繰りの推移(地区別)

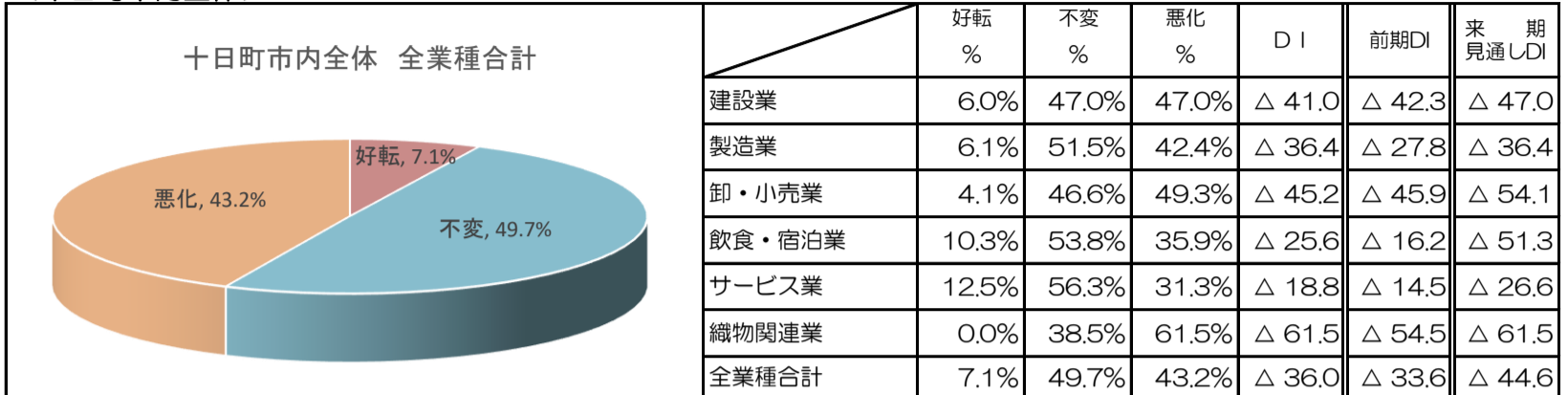


＜コメント＞会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△23.3ポイントで、前回調査時よりも3.4ポイント悪化している。業種別に見ると、卸・小売業とサービス業が好転したが、そのほかの業種は悪化した。来期見通しでは織物関連業が横ばい、製造業が好転の予測、その他の業種は悪化の見通しとなっており、全業種DI値においては悪化する見通しである。

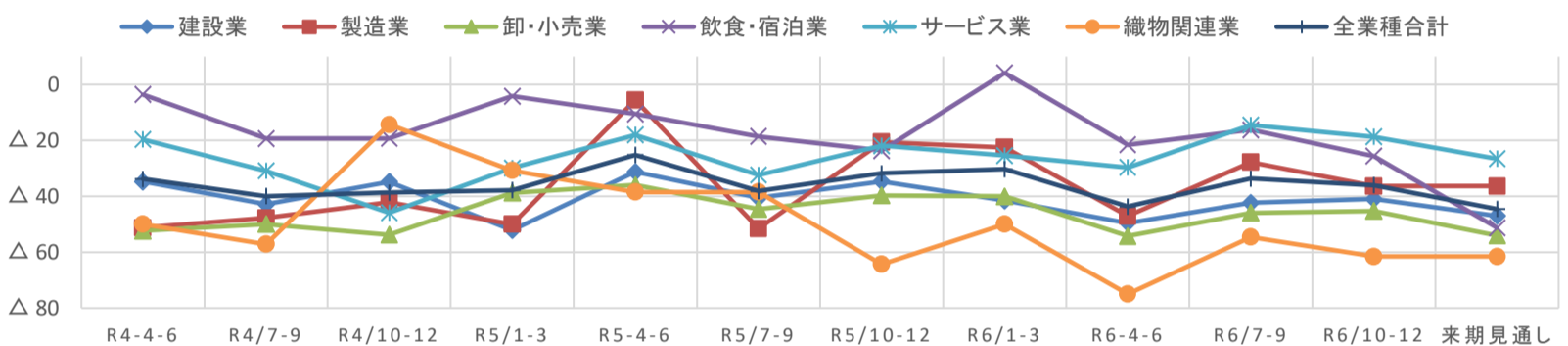
6. 景況判断について

・10月～12月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

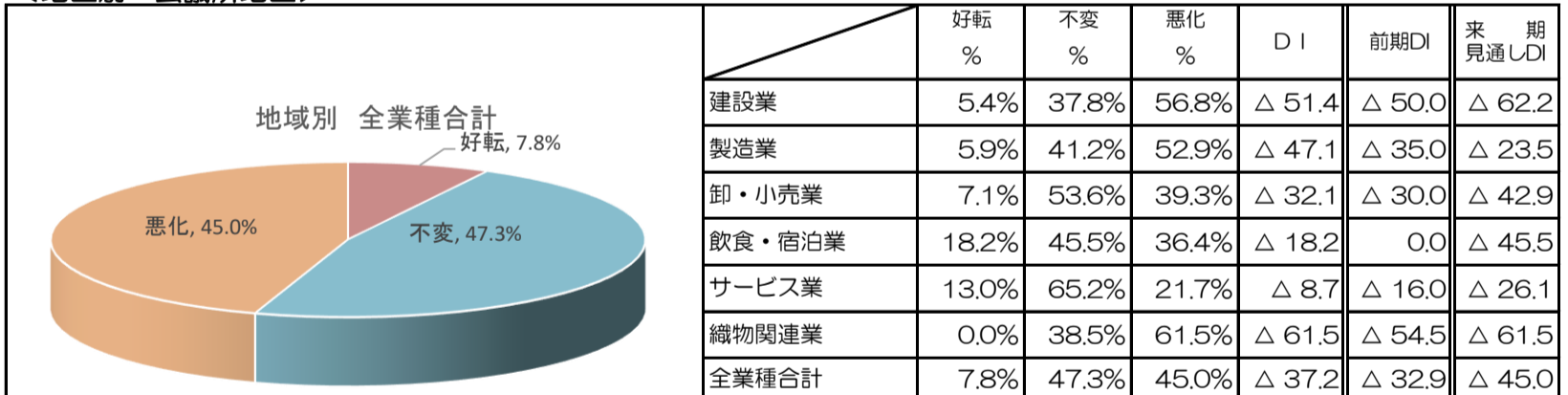


業種別景況判断の推移(市内全体)

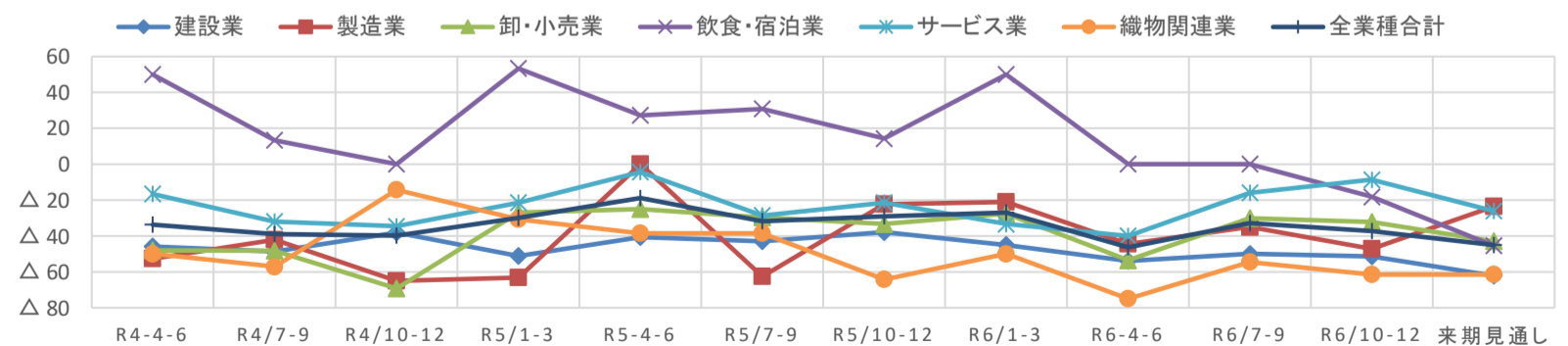


＜コメント＞十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△36.0ポイントで、前回調査時よりも2.4ポイント悪化している。建設業と卸・小売業では好転しているが、製造業、飲食・宿泊業、サービス業では悪化となった。来期見通しとしては全業種DI値で8ポイント悪化する見通しである。業種別に見ると、製造業では好転し、建設業、卸・小売業、飲食・宿泊業、サービス業では悪化する予測である。

＜地区別：会議所地区＞



業種別景況判断の推移(地区別)

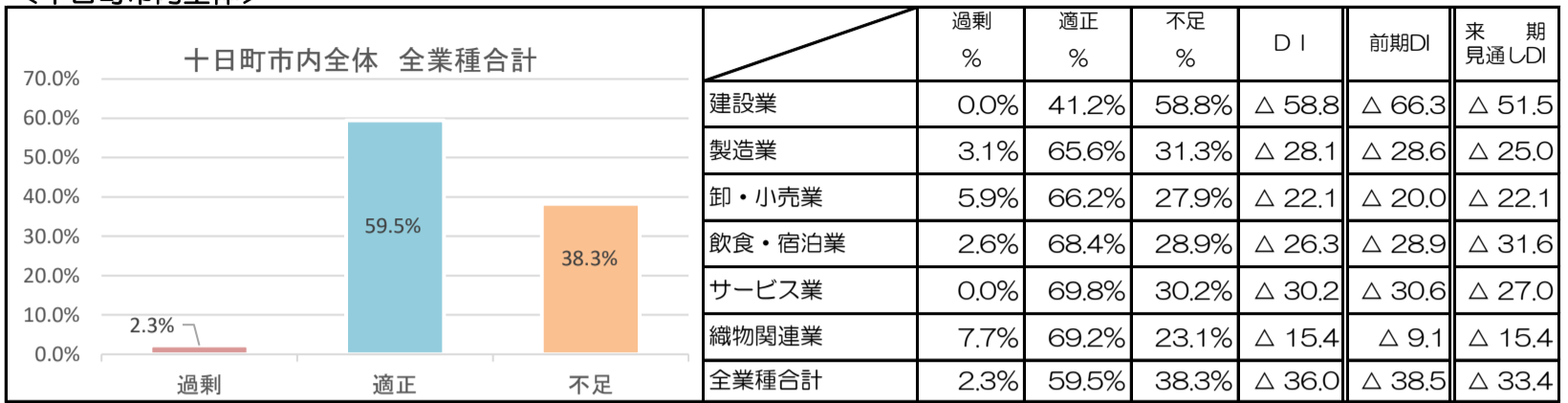


＜コメント＞会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△37.2ポイントで、前回調査時よりも4.3ポイント悪化している。業種別に見ても、サービス業を除いたすべての業種が悪化となった。来期見通しでは製造業が好転、織物関連業が横ばいの予測、その他の業種は悪化の見通しとなっており、全業種DI値においても悪化の見通しである。

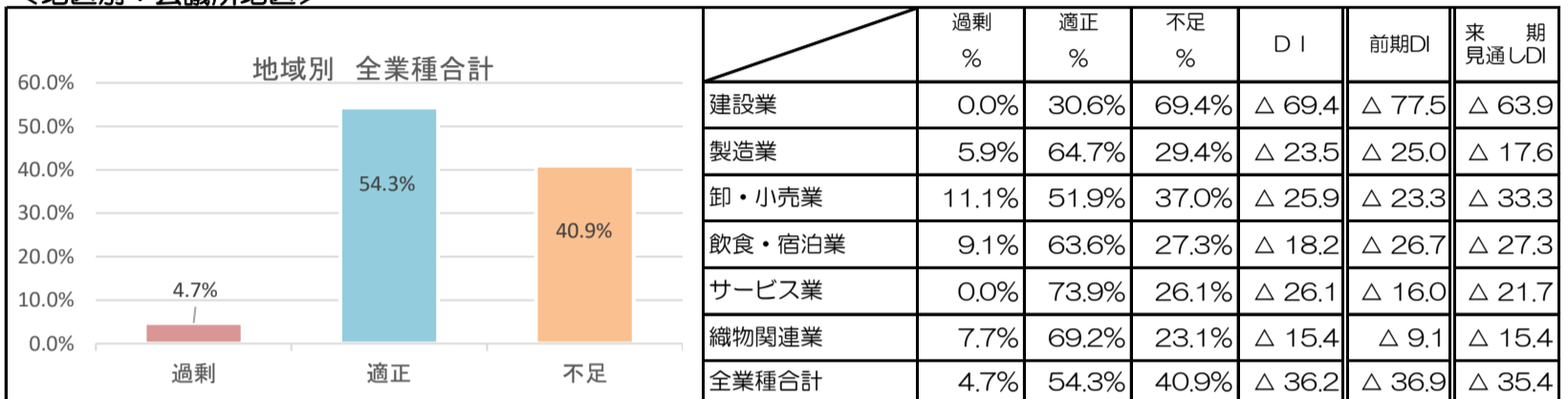
7. 従業員数について

・10月～12月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



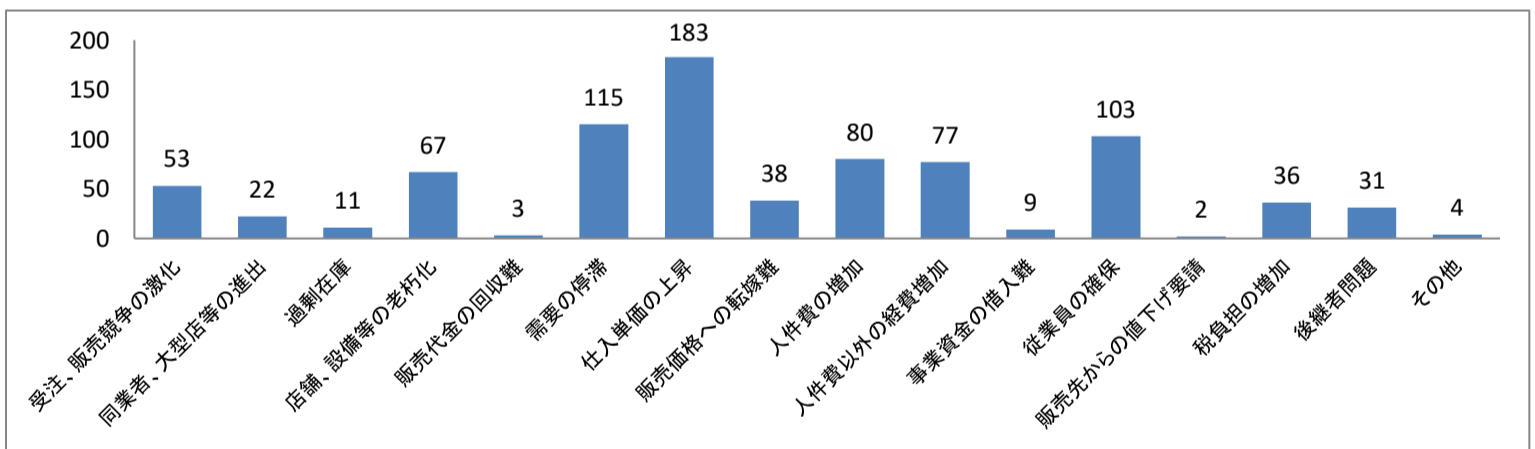
<地区別：会議所地区>



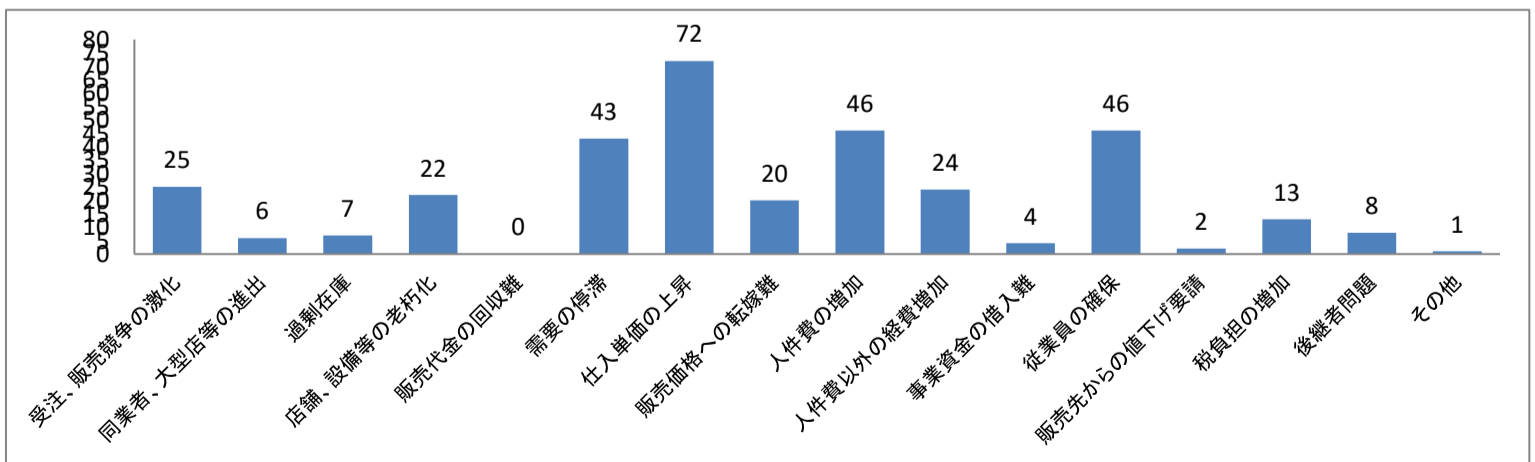
<コメント>今期の従業員数（雇用動向）は、前回調査より過剰回答が0.5%減少、適正回答が3.7%増加、不足回答が3%減少している。会議所地区の状況は、建設業、製造業、飲食宿泊業で不足回答が減少した。来期見通しでも建設業と製造業、サービス業で不足回答が減少する見通しである。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：10月～12月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>十日町市内における経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の確保」であった。前回調査と項目は変わらず、2位と3位に変動があった。会議所地区の経営上の問題は、1位「仕入単価の上昇」、続いて「従業員の確保」、「人件費の増加」となった。



## 9. 地区の景況概要

・10月～12月時点での全体概況は

<p><b>【建設業】</b> 今期の建設業の状況は、資金繰りと景況判断が悪化となったが、その他の項目は好転した。来期見通しにおいては、仕入単価が横ばい、従業員数が回復の予測だが、その他は悪化の見通し。経営上の問題点は、回復の兆しが見られるものの依然として「従業員の確保」が最も多く、続いて「仕入単価の上昇」が多く回答されている。</p>
<p><b>【製造業】</b> 今期の製造業の状況は、売上と販売(客)、従業員数が好転しているが、その他の項目は悪化となった。来期見通しにおいては、販売(客)単価が悪化予測となり、その他は好転の見通しとなっている。経営上の問題点は、「仕入単価上昇」「需要の停滞」が多く回答されている。</p>
<p><b>【卸・小売業】</b> 今期の卸・小売業の状況は売上と販売(客)単価、資金繰りが好転し、その他の項目は悪化した。来期見通しにおいては、仕入単価低下の予測だがその他の項目は悪化の見通し。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「人件費の増加」が多く回答されている。</p>
<p><b>【飲食・宿泊業】</b> 今期の飲食・宿泊業の状況は、売上や仕入単価、従業員数が好転し、その他の項目は悪化した。来期見通しにおいても、仕入単価は引き続き好転の見通しだが、その他の項目は悪化予測となった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「人件費の増加」「店舗、設備等の老朽化」が多く回答されている。</p>
<p><b>【サービス業】</b> 今期のサービス業の状況は、仕入単価と従業員数が悪化となり、その他の項目は好転した。来期見通しにおいても仕入単価と従業員数が好転予測となっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「従業員の確保」「税負担の増加」の順に多く回答されている。</p>
<p><b>【織物関連業】</b> 今期の織物関連業の状況は、売上と採算が好転となりその他の項目は悪化した。来期においては、全ての項目で横ばいの見通しである。経営上の問題点は、「需要の停滞」「仕入単価の上昇」が多く回答されている。</p>